

人物展示コーナー「柏崎の先人たち」 令和4（2022）年度の展示

○テ ー マ 「貞心尼が暮らした当時の、柏崎町の先人たち」

令和4（2022）年度の展示替えは、令和4（2022）年が貞心尼の没後150年にあたることから、貞心尼が柏崎に暮らしていた同時期の、柏崎町の先人を取り上げました。

○展示内容 貞心尼が柏崎に暮らしていた期間を分類し、各期間で先人を紹介しました。

- (1) 文政3（1820）年～文政8（1825）年（下宿村で剃髪し「貞心尼」となった期間）
 - ・原松洲 高崎から来柏して塾「十六堂」を開き、町人の子弟を教育。
- (2) 天保12（1841）年～嘉永4（1851）年（釈迦堂に暮らしていた期間）
 - ・原修斎 天保9年に江戸から柏崎に戻って十六堂を継いだ教育者。
 - ・水落雲濤 天保10年に江戸から戻って柏崎で開業した医者。
 - ・松村宗悦 天保15年に京都から柏崎へ戻り、茶道などをもたらす。
 - ・竹内鬼外 弘化4年に江戸から来柏した桑名藩士で、町民に俳句を教えた。
- (3) 嘉永4（1851）年～明治5（1872）年（不求庵に暮らし、亡くなるまでの期間）
 - ・星野藤兵衛 万延元年に家督を継ぎ、戊辰戦争の戦火から柏崎を救った勤皇家。

※貞心尼と親交の深かった山田静里等は、秋季企画展で取り上げたため対象外としました。

○会 期 令和4（2022）年6月～令和5（2023）年9月

○協 力 柏崎市立図書館（原松洲・水落雲濤・松村宗悦の資料借用）



展示替えした収蔵資料の展示